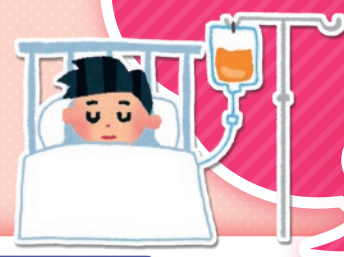
みんなの声で動いてる!!



北部医療再考
（入院・検査機能確保）

「（仮称）川西市立総合医療センター基本構想」 **北部診療所の計画**

	月～金	土・日・祝日
午前	内科3診、整形外科1診、小児科1診、外科等その他1診 **計6診**	内科1診、整形外科1診、小児科1診 **計3診**
午後以降	内科1診（24時間急病対応）	

※院内開業を2診誘致予定　※市の構想より抜粋
※北部診療所と川西市立総合医療センター（キセラ）間のシャトルバスを運行予定

入院機能（回復期・慢性期）、CT検査可能に

現在、川西市立総合医療センター（公設・指定管理者制度、28診療科405床）建設に向けての造成工事がはじまっていますが、6月18日「市立病院整備調査特別委員会」において、現市立川西病院の跡地活用の変更について報告・議論が行われました。

2019年2月発表の基本構想（上表参照）では、①入院機能がなくなる、②CT MRI等の検査ができないなど、市北部で病院の空白地ができることへの懸念が住民から多数寄せられていました。今回、今井病院（猪名川町・医療法人晴風園）から現病院敷地の約3割を利用する新病院建設（回復期・慢性期160床）の提案を受け前向きに検討したいことや、地域医療連携推進法人（医療法人晴風園、協和会、市医師会）を立上げ、外来機能確保など検討することが報告されました。

外来機能確保、複合施設の再検討など、さらに充実を

提案によると、入院機能やCT検査の確保ができるものの北部診療所計画がなくなることで、足りない外来機能の確保をどうするのか新たな課題が生まれています。方向性が示されている小児科の確保や、川西市応急診療所（休日診療）の機能を北部へ移すなどの具体的内容が、これから決まっていくことになります。

総合医療センターへのシャトルバス運行や、跡地利用での複合施設のあり方については、今後決めていくことになります。

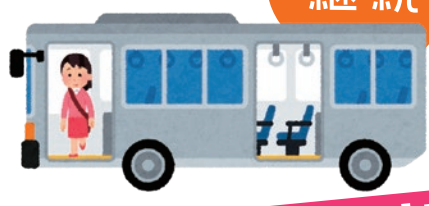
それぞれの地域で開催されたタウンミーティングでは、市提案の高齢者施設だけでなく、障がい児（者）施設や子育て施設の希望が出されており、市民の声や願いを届けて、安心してくらしていくことができる地域作りをしていきましょう。

吉岡けんじ
TEL 090-1142-4778
ブログ 吉岡けんじ 検索

黒田みち
TEL 090-9987-7909
ブログ たんぽぽだより 黒田みち 検索

教育委員会 申し入れ

バス継続



住民の声で方針転換

オンデマンドモビリティ（予約型乗合タクシー）

市が進めている「オンデマンドモビリティ（予約型乗合タクシー）制度実証実験」において、「大和団地～畦野駅前～山下駅前～川西病院前」の阪急バス運行を休止（9:30～17:30）するとしていましたが、「バス継続を求める」住民の強い声や願い行動によって、バス運行を継続することが決まりました。

また、実証実験に関しても、住民の声をしっかり聴いて進めることを確認しています。（6月18日再確認）住民が望んでいる「公共交通」について、みんなの知恵と力を合わせていきましょう。

温かくて おいしい

ランチ提供

3月、新型コロナウイルス感染対策による突然の自粛と休校。こどもだけで留守番しなければならない児童に対して、留守家庭児童育成クラブ利用と必要なこどもの緊急受入れを各学校で実施。こどもの受入れが喜ばれると共に、調理師の発案で希望者に「ランチ」が提供され、「温かくて美味しい」と評判でした。

国へ「選択的夫婦別姓」を求める 意見書提出

3月議会、「選択的夫婦別姓制度の導入に向けて民法改正を求める国への意見書提出を求める請願書」を提出。日本共産党議員団は紹介議員となって奮闘。3月26日、本会議で賛成多数となり、国への意見書提出となりました。（反対：吉富・中曽両議員）

みんなの声でもっと動かしましょう!

北野のり子
TEL 080-3134-0618
ブログ 北野のり子 検索

- 総合相談窓口の開設
- 市税、国民健康保険税の徴収猶予
- 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免
- 持続化給付金の対象とならない市内事業者等に支援（売り上げ20%～50%未満に10万円）
- 市営住宅の提供、家賃等の減免・徴収猶予
- 緊急雇用対策として職員採用（内定取消者）
- スクール・サポート・スタッフ配置　など